

大会名称: 第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: ツインドーム重信 Aコート

試合区分: No. 4 成年男子 1回戦

期 日: 2017(H29)年10月1日(日)

開始時間: 15:15

終了時間: 16:45



主審: 大谷 英紀

副審: 高野 晃平

愛媛 (開催地)	○ 72	17 - 9	● 66	新潟 (北信越)
		4 - 20		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		上田 将貴	0	0	0	0	1	1	0
5	*	瀬戸 将軍	3	0	1	1	2	3	7
6		新宅 悠三	2	0	1	0	0	1	0
7		俊野 佳彦	-	-	-	-	-	-	-
8		石丸 知真	3	1	0	0	0	1	0
9		俊野 達彦	-	-	-	-	-	-	-
10	*	重本 和毅	13	0	6	1	4	18	2
11		西原 一清	0	0	0	0	0	0	0
12	*	周 率	18	0	9	0	2	4	1
13	*	幡本 優生	16	2	2	6	4	8	4
14	*	向井 祐介	17	2	4	3	0	3	1
15		井上 翔太	0	0	0	0	2	1	0
HC		岩田 翔 / TEAM					-		
		合計	72	5	23	11	15	40	15

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	岩下 大志	6	0	3	0	4	1	2
5	*	岩澤 裕也	0	0	0	0	2	1	0
6		坂上 聡	4	0	2	0	3	4	0
7	*	田中 豪希	3	1	0	0	0	0	0
8		今野 樹	0	0	0	0	0	0	0
9	*	近藤 大	5	0	1	3	2	0	1
10	*	佐々木 良輔	0	0	0	0	0	0	0
11		今村 佳太	21	1	8	2	4	7	1
12		木村 嗣人	12	1	2	5	0	7	6
13		柳川 祐亮	4	0	2	0	1	1	0
14		高嶋 奏剛	2	0	1	0	2	3	0
15		井上 凌	9	1	3	0	1	4	2
HC		岩崎 一英 / TEAM					-		
		合計	66	4	22	10	19	28	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり愛媛県は#14の3Pなどで点を重ねる。新潟県は愛媛県の激しいディフェンスにオフェンスを組み立てることができない。残り5分、苦しい展開の続く新潟県は選手を5人入れ替えて流れを掴もうとする。残り2分、新潟県#11のバスケットカウント、3Pで点差を詰めるも、愛媛県#8の3Pシュートが決まり、9-17で愛媛県が8点リードで終える。

第2ピリオド、新潟県は開始早々に#12の3Pや#13のゴール下で得点を重ねる。愛媛県は逆にシュートがリングに嫌われ、5分間点を取ることができず、たまたまタイムアウトをとる。しかしその後も、新潟県は#11のシュートで逆転すると、#7の3Pや#6のインサイドなどで、点を重ねていく。何とかオフェンスを立て直したい愛媛県は#13のドライブインで果敢に攻めるも、点差は広がり、29-21と新潟県が8点リードで前半終了。

第3ピリオド、愛媛県はマンツーマンと2-3ゾーンを切り替えながらディフェンスをする。新潟県は5分間得点を取ることができない。残り4分、愛媛県は#12のダンクシュートで一気に流れに乗り、さらに#12がインサイドで点を重ねる。新潟県は#15が3Pを決め、40-45で愛媛県が5点リードで終える。

第4ピリオド、愛媛県は#12のインサイドプレーが冴え、点を重ねる。新潟県は速い展開でファウルを誘い、フリースローを確実に決めていく。一進一退の攻防が続き、逆転に次ぐ逆転が繰り返される。新潟県2点リードで迎えた残り2秒、愛媛県#10がゴール下をねじ込み、同点となり延長へ突入する。

延長の開始直後に愛媛県#13が3Pを決め、3点リード。新潟県は相手のターンオーバーから速い展開で得点を重ねる。残り2分からは、お互いファウルがかさみ、フリースローの場面が増える。愛媛県はフリースローを確実に決め、接戦を制して勝ち上がった。地元の大声援もあり、白熱した好ゲームであった。

担当者: 岡田 健佑(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

